



3分で読めるカキプロたより

かきのたね

銀行の振込手数料が引き下げ相次ぐ

2021年10月から銀行間の振込手数料が見直され安くなります。

その理由は銀行と銀行をつなぐ全国銀行資金決済ネットワーク(全銀システム)の送金手数料が安くなったため各銀行が振込手数料を引き下げた背景があります。

全銀システムの銀行間手数料は3万円以上は162円、3万円未満は117円でしたが、一律62円となります。これらが振替手数料の原価となり利用者の負担が軽くなったというわけです。

実際にこのシステムの運用で銀行と銀行の間でキャッシュが動いているのでしょうか？

実は、全銀システムと日本銀行の日本銀行金融ネットワークシステム(日銀ネット)が連携しており、日銀にある銀行と銀行の当座預金間で入出金しており、直接銀行間で送金し合うことはありません。これらのシステムにより銀行間の当日振り込みの処理は24時間365日即時送金が可能となっています。(モアタイムシステム)

この40年以上変わらなかった手数料改定のきっかけはキャッシュレス決済社会の躍進にある。例えば、銀行に預けていたお金をポイントに変える事で銀行の預金残高が減ることになる。要するに銀行を介さずにスマホ決済が可能になり手数料がかからず個人間送金出来てしまう。仮想通貨に代表される「P2P サービス」による個人間送金はLINEやPAYPAYによって普及した。銀行にとってこの低金利時代に預金残高は減り、振込手数料による収入が減れば死活問題だ。そこで全国銀行協会は利用者離れを懸念し全銀システムの料金改定に踏み切った。P2Pによってリアルタイムにお金を管理する世の中はどこまで変わっていくのだろうか。それらを支える通信インフラはますます社会生活の基盤維持に不可欠なものとなった。

注)振込手数料の変更は銀行によって違いますので銀行のHPでご確認下さい。

日本銀行HP「教えて日銀」より参照

● ご相談先

株式会社カキプロ 本社 住宅サポート事業部

札幌市中央区大通西11丁目4大通藤井ビル2F 011-280-6580

株式会社カキプロ 大阪事務所

大阪市北区天満1丁目6-8 六甲天満ビル2F 06-6882-2680

「かきのたね」の名前はカキプロのかきと情報=話しのたねをかけてネーミングしました。お客様が気軽にご相談できる代理店を目指し発行しております。配信不要の場合はメールにてご連絡ください。

発行者 湊 芳行
y-minato@kakipro.jp